

令和元年 11月 朝会

みなさん おはようございます。

はじめに、先週の木・金曜日と大和市の総合文化祭が行われました。木曜日には、英語大会があり、暗唱の部に3年生女子1名が出場しました。堂々と暗唱を行っていました。貴重な経験ができたのではないのでしょうか。また、金曜日には、音楽会があり、つきみ野中学校の代表として3年8組が出場しました。各校代表クラスが発表する中、「親知らず子知らず」の堂々とした素晴らしい発表でした。練習から大変だったと思いますが、素晴らしい経験ができたのではないのでしょうか。3年8組のみなさんお疲れさまでした。

先生は、各校の合唱を聞き、音楽を通して、心が豊かになったように思います。

1か月前に比べ、日中もだいぶ涼しくなり秋も深まってきました。体調をくずしていませんか。

みなさんは、「どんな秋」を過ごしていますか。ぜひ、それぞれの秋を満喫してほしいと思います。

2学期の大きな行事である運動会、合唱コンクールと無事に終了することができました。みなさん一人ひとりが行事に対して一生懸命取り組む姿が見られ、大変うれしく思います。ぜひ、普段の生活においても、クラスで協力して取り組んで行けるといいと思います。

先日発行された、1学年通信の文化発表会を終えての作文の中に、こんな一文が書かれていました。

「実行委員の仕事で、合唱練習に出られない時もあったのですが、朝会で校長先生がおしゃっていた「One for all、All for one」という言葉を座右の銘に学校のために必死に働いた。」とありました。

この作文を読んで、大変うれしく思いました。

「One for all、All for one」

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という精神をこれからもわすれないで生活してほしいと思います。

さて、今日は「人権」について少し話したいと思います。

世界人権宣言が採択された12月20日を「人権デー」と定め、日本でも、毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日から10日まで）を、「人権週間」と定めており、その期間中、各関係機関において、人権尊重思想の普及高揚を図るなど、全国各地においてシンポジウム、講演会、座談会、映画会等を開催するほか、テレビ・ラジオなど各種のマスメディアを利用した集中的な啓発活動が行われています。

それでは人権とは、どういうことでしょうか。「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものとあります。わかりやすく言うと、「命を大切にすること」、「みんなと仲良くすること」が人権を守ることになります。

法務省は、本年度の人権啓発活動目標を、

みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう

違いを認め合う心～

とし、強調事項として、「子どもの人権を守ろう」をはじめとした17項目を定めています。

21世紀は「人権の世紀」と言われています。一人一人が人権を尊重することの重要性を正しく理解し、これを前提として他人の人権にも十分配慮した行動をとることができるよう、相手の気持ちを考えることの大切さを一人一人の心に感じてもらいたいと思います。2020年オリンピックに向けて、大勢の人が集まります。「違いを認め合う心」も育んでもらいたいと思います。

ぜひ、みなさんもこの機会に、「命を大切にすること」、「みんなと仲良くすること」「思いやりの心」など「人権」について、考えてみましょう。

以上で終わります。